



Lend a Hand

Prêter main-forte
Hilf auch Du
Tendi la mano
手を貸そう
이웃에 도움을 손길줄
Dê a Mão ao Próximo
Una Mano Solidaria
Sträck ut en hand

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2003-2004

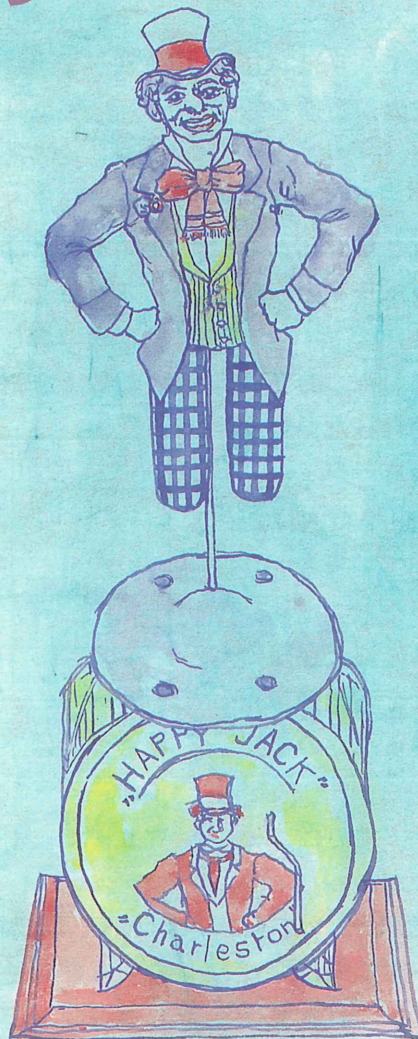
ガバナー月信

No.

5

ガバナーメッセージ	2	派遣留学生帰国報告会	17
ロータリー財団月間に寄せて	5	クラブ新世代委員長会議	18
地区クラブ奉仕委員会	11	地区新世代委員会	18
地区社会奉仕委員会	11	JGFR名古屋大会	18
地区拡大委員会	11	国際大会情報	19
地区広報委員会	11	GSE派遣メンバー紹介	19
ガバナー公式訪問報告	12	2004~2005年度地区スタッフ決定	20
会員増強委員長会議	16	第2回地区諮問委員会	22
職業奉仕委員長会議	17	文庫通信	22
クラブ米山奨学委員長会議	17	出席報告	23

11月は、ロータリー
財団月間です。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760 2003年11月1日発行

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 豊島 徳三
〒491-0873 一宮市せんい2-5-11 豊島株式会社 一宮本店内
TEL 0586-75-7071 (代) FAX 0586-77-1581
E-mail : governor03-04@rotary2760.org

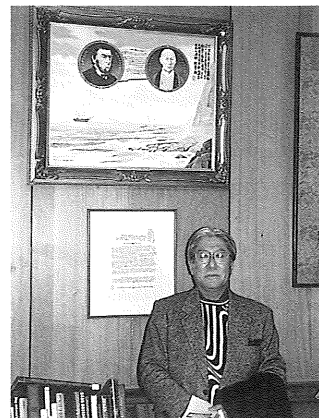
11月

ガ バ ナ ー メ ッ セ ー ジ

Governor Message

「ことば・・・」

第2760地区ガバナー 豊島 徳三



夜の散歩の途中、ワゴン車が傍らに止まり、車窓から60歳台の男性が、「一寸お尋ねしますが、千種区のコミセンはどこでしょう」

中には数名の同年齢の人がいる様子。私はハリセンは分かるが……。すかさず家内が道筋を教え、一件は取り敢えず事なきを得た。

コミセン＝コミュニティーセンターの略と知らされて哑然とした。どうして集会所とかコミュニティーセンターでもないのか、そう思う私のみが偏屈なのだろうか。

現在の日本には外来語が氾濫しており、お互いによく分からぬままに対話し、通じ合ったつもりで過ごしている事が多いのではなかろうか。

新聞でも伝える所によれば、竹中平蔵大臣が「コーポレート・ガバナンス」と述べていても90%の人は理解していなかったとしている。

さて、ジョン・万次郎という人は先刻ご存知の事と思う。四代目の中浜博氏は名大を卒業後、先日まで中日病院の外科部長をしておられたので知己の方も多いと思う。

私も深まる秋のニューイングランド地方へ、そしてフェアヘブンの町を訪れる機会があった。ホイットフィールド船長宅も外から拝観した。現在、資料めいたものは同地のミリセント図書館に保管されていた。図書館員のキャロライン・ロングワース女史は私が名古屋から来た事を知り、オー、ドクターナカハマの住んでいる所だと色々親切にしてくれた。

一冊の途轍もなく分厚い芳名帳があり、1843年開館の日、最初のページの署名がマーク・トウェインには驚かされた。

天皇（明仁）皇后両陛下を始め、日本の政財界

のかなりな方々も多く、彼女は日本の女子学生の団体がとても多いが何故か？と訝しげであったのが印象的だった。

私が署名する時、一本のペンを貸してくれた。これは天皇陛下の署名されたものと……。

少し長話にはなったが、今、流行の外来語の無味乾燥に比べ、我等ジョン・万次郎氏が耳から音を聞き取った英語は何と優雅な響きと温もりを感じさせると思いませんか。

本人の著した「英米対話捷徑」の中に記されている数語を紹介すると

ナイ	夜	シャウス	南
ワタ	水	サンダ	雷
ヘブン	天	レバ	川
コヨル	寒	キャンル	ロウソク
ゲイ	門	イブネン	宵

極めつけは 掘ったイモいじったな＝今、何時ですか

What time is it now?

NHKの取材班がマンハッタンの雑踏の中で試したら立派な通じ時間を教えてくれたと。

ジョン・万次郎とは別に「オーヤマゲッセン」なる言葉がある。

明治初期、英国海軍の軍人達が三河島辺りで運動会を催した時、スタートを知らせるピストルの前にこの様な言葉があったと聞く。

On your mark, get set

位置について 用意 ドーン

今でもオリンピックを始め競技のスタートで親しまれている言葉である。

我社の明治生まれの古い番頭氏に訊ねたところ小学校の頃、確か聞いた記憶があるには二度驚かされた。

一方福澤諭吉なる御仁は逆に欧米を視察し、従来日本にはなかった造語を創り出した。

演説、汽車、交際、西洋、権利、保険 生涯請合＝生命保険、災難請合＝損害保険 等々

或る時、日本の政治家が挨拶の中で、日本の古い諺「ゴマメのハギシリ」を使った折、外務省のエリート氏がFive Beans・・・と訳し、全く会話にならなかったと聞いたことがある。

又、日本に造詣の深い、イギリス人の学生が「アンチ ジャーマン ロー＝反ドイツ法」と英訳した。日本には「反ドイツ法」などという法律はない筈と前後を験べると、「独禁法＝独占禁止法」の訳らしい事に気付いたと書かれたものを読んだ事がある。

これらの事柄を考え合わせてくる時、先人達は本もない、辞書もない、当然外国語そのものも分からない。(当時蘭語が唯一の外国語で通詞も辞書もあったが、英語はなかったと推測する。)

福澤は何をおいてもウェブスターの辞書を購入したとある。「零」からのスタートそれをどの様にして解いていったのか。まず、言語を学び、制度を学び、文化・教養を高め、新生日本国の礎を築いた原動力・努力・根性には只管敬服と感動を憶えるばかりである。

巨大客船が今、正に沈もうとしている。しかし、救命ボートの数が足りない。女性と子供だけは先に乗せなければいけない、と船長が男達をなだめにかかった。彼はまず、イギリス人を説得した。『君たちは紳士だ。淑女を先に乗せなさい』と。次に、アメリカ人を『君たちはヒーローになるんだ』と諭した。ドイツ人にはこう話した。『ルールだから守って下さい』。そして最後に、日本人に言った。『みんながそうしているから、君もそうして下さい。』

ロータリー財団の沿革及び 使命と活動プログラム

(1) ロータリー財団の沿革

ロータリー財団は、1917年アトランタの国際大会で会長のアーチ・シー・クラムフ (Arch C. Kramph) が教育に奉仕するための基金をつくる必要を強調し、Rotary Endowmentを設けたが、これが後にロータリー財団になるのであった。

彼は慈善、教育その他の奉仕分野において「世界で善をなすために」を大義に「ロータリー基金」を創設しました。この基金の最初の寄付金は、26.5ドルで、ミズーリ州カンザスシティー・ロータリークラブからの第1号寄付行為であります。その後この基金は1928年ロータリー財団に改称されました。そして30年後の1947年国際ロータリー創設者ポール・ハリス逝去に当たり、遺族より2万ドルの寄贈が契機となり、その後世界中のロータリアンが氏を偲んで多額の寄付が財団に寄せられ、その額100万ドルを越

えたのであります。財団は直ちにその用途として翌年より「国際親善奨学金」プログラムをスタートさせました。

(2) 財団の使命

ロータリー財団は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの「人道的、教育的、文化交流」のプログラムを通じて、国際ロータリーの綱領とその使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することであります。

(3) 財団の活動プログラム

ロータリー財団プログラムには「人道的、教育的、文化交流」の3プログラムがあります。とくに教育的プログラムの国際親善奨学金プログラムは、財団発足以来続いて民間レベルとし

ては世界最大の規模の奨学制度です。その目的は青少年を他国の教育機関で勉強させることによって、相違なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与することにあります。毎年約1,300名の財団奨学生が派遣されて世界平和と理解増進に寄与しています。

【教育的プログラム】

国際親善奨学金

2001～'01年には、全世界で、1,200名の国際親善奨学生が世界64ヶ国に派遣され公式・非公式を問わず、受け入れ側の国の人々に対して優れた「親善使節」の役目をはたしています。すなわちロータリー財団国際親善奨学金プロジェクトは、世界で最大にして、かつ最も国際的な奨学金プログラムであります。

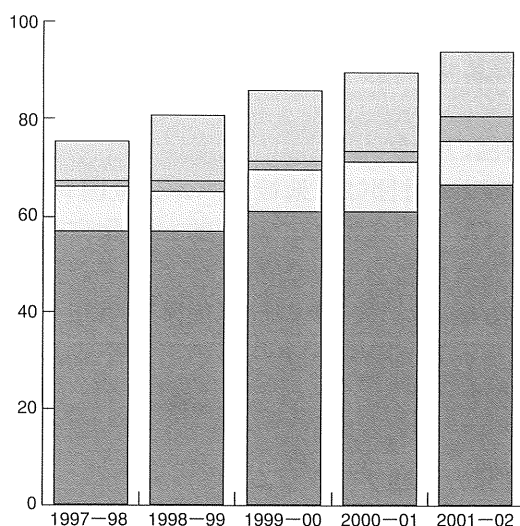
またこの奨学金制度が他の奨学金制度に無い利点は、奨学生の推せんロータリー・クラブやそのロータリアン、特にホスト役の顧問ロータリアンなど強い絆があることです。それはそれぞれ人生の過程で物心両面の支援とより良いアドバイスを受けていくことであります。

【文化交流プログラム】

研究グループ交換（GSE）

1965年に発足したロータリー財団の「国際文化交流プログラム」であります。発足年度34チームであったこのプログラムは、'98年～'99年度には565チームまで拡大されました。毎年授与されるこの補助金は各地ロータリアンの高い志と熱いロマンによって支えられています。この制度は、組み合わせられた2つのロータリーの地区が交互に、色々な職業に従事するロータリアン以外の人々から成るチームに旅費等を提供するものであります。ホストのロータリアンが、教育的または文化的内容の研修ができる4週間から6週間の研修日程を作成します。発足以来100ヶ国以上から37,000人（約7,600チーム）が参加しています。このプログラムが高い評価と人気を維持している要素に、発足以来変わらない要因があります。それはまたとないこの経験が参加者の人生に非常に大きな影響を及ぼすということです。

ロータリー財団への寄付額（米貨百万ドル）



統計の要約

	2001-02年度	累計
寄付額	8,100万ドル	(13億2,300万ドル)
年次プログラム	6,750万ドル	(9億8,070万ドル)
恒久基金	870万ドル	(9,100万ドル)
誓約	マイナス20万ドル	(20万ドル)
ポリオ・プラス基金	500万ドル	(2億5,150万ドル)
プログラムの授与額 および支出金	9,540万ドル	(12億8,800万ドル)
大口寄付者	675	(4,119)
遺贈友の会会員	607	(2,593)
ベネファクター	4,074	(57,608)
ポール・ハリス・フェロー	44,308	(807,915)

使途指定寄付 恒久基金
ポリオ・プラス 年次基金

ロータリー財団月間によせて

地区ロータリー財団委員会 委員長 鈴木 孝則



日頃は、R財団にご理解とご協力を賜り、先ずもって感謝申し上げます。

おかげ様で、当地区は、寄付額、活動プログラム共に、大きな成果をあげ、R財団の使命を立派に果たしてきております。歴代ガバナーのご指導をいただきながら、財団委員長、委員の方々の情熱と献身のご努力の賜であります。

さて、新会員のスポンサーになられたご経験がおありと思いますが、新会員候補者は当然ロータリアンではないわけですから、先ずロータリーについての説明をすることになります。その時、ロータリー財団の奉仕活動を説明するのが、最も理解し易く、受け入れていただけることになるのではないのでしょうか。正に、ロータリーの奉仕活動の中で、世間の方々に、最も分かり易いのがR財団の諸プログラムであります。ご存知のとおり、ロータリアンの減少が問題になっております。世間の方々に、ロータリーが正しく理解され、親しみと尊敬を受けていなければ、増強は益々難しくなってしまいます。ですから、R財団の奉仕活動は、世間との接点を担い、ロータリーの存在感を示しております。そして、「ロータリアンとしての喜びや感動が無いから退会する」という退会理由がありますが、「奉仕をする」ことによって「喜びや感動」が味わえるわけですから、R財団の奉仕活動が充実しているかどうかは、ロータリーの浮沈に関わる事であります。

R財団活動の3項目は、寄付金を（１）集める、（２）管理・運用する、（３）活用する

であります。

- （１）集めるについては、豊島ガバナーは、世界中の全ガバナーと共に、RIに当地区の目標額を約束しております。当然、当地区として約束を果たさねばなりません。
- （２）管理・運用するについては、別の機会に述べたいと思います。
- （３）活用する、これが大切であります。

「Every Rotarian, Every Year」の標語のもとに、善意の浄財を集め続けようとするわけですから、義務感だけではなく、R財団をよく理解した積極的「財団ファン」になっていただく必要があります。寄付金は、いくら集まるのか、どこに、いくら、どのように活用されているのか、その結果どんな貢献ができたのか、資金が枯渇しない仕組みはあるのか、地区やクラブの奉仕活動に使える財団資金はあるのか等、理解し、納得していただければ、自然に「財団ファン」になっていただけると思います。

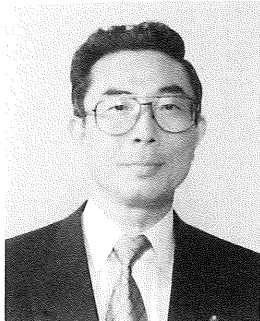
本年は、全財団委員の方々と「財団ファン」をつくり、増やす一年にしたいと願っております。ご指導とご協力をお願い申し上げます。

教育的プログラム・奨学金の御案内

地区財団奨学委員会 委員長 石田 正城

■ 国際親善奨学金

国際親善奨学金はロータリー財団発足以来、民間レベルとしては世界最大規模の奨学制度です。ロータリー財団奨学金の目的は、男女を他国の教育機関で勉学させることによって、相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与することにあります。毎年約1,000～1,300名くらいの財団奨学生がロータリー・クラブと地区、学校や市の機関、その他のフォーラムへの公式、非公式の参加を通して、受け入れ国の人々に対する優れた「親善使節」として行動しています。



財団の国際親善奨学金には次のようなものがあります。

- 1 学年度の国際親善奨学金：旅費を含めた上限支給額は米貨25,000ドルですが、この金額は2005 - 06年度まで変更がないことが

決定しています。

- マルチ・イヤー国際親善奨学金：これは学位取得を目的とする2年の奨学金です。支給額は1年につき、12,500ドルになります。
- 文化研修のための国際親善奨学金：これは3カ月の語学強化研修と相手国の文化に溶け込むことを目的とするプログラムです。上限支給額が設けられ、12,000ドルになります。

■ 世界平和奨学金 (World Peace Scholarship)

世界平和奨学金：ポール・ハリス没後50周年と財団の教育的プログラム創設50周年を記念して、財団管理委員会は、国際関係を研究するためのロータリー・ポール・ハリス・センター設立計画を立てました。これは異なる地域の評価の高い八つの大学と提携して行われる計画です。

国際親善奨学金は、地区から奨学生を推薦しますが、世界平和奨学生は世界を枠とする競争制によって世界から70名が選ばれます。

■ 国際親善奨学金と世界平和奨学生の応募および申請書類

	国際親善奨学金	世界平和奨学生
選考	地区で選考	世界を枠とする競争制
専攻分野	さまざまです	世界平和達成に関連する分野のみ
申請者が応募できる地区	申請者の居住地、職場、大学、本籍のいずれかが応募地区内になければなりません	面接を受けることができれば、居住地、職場、大学、本籍に関係がなくても応募できます
学位の取得	2年のマルチを除き、学位の取得を目指しません	修士号の取得を目指します
地区が提出できる申請書の数	地区が教育的分野に配分したDDFの範囲内ならいくつでも	1地区1人
奨学金の種類	1学年度、2年のマルチイヤー、3カ月文化研修	1種類のみ
申請資格	奨学金年度が始まる時点で大学2年を終了しているか、高校卒業後2年間職業に就いていた経験のある人	大学新卒は望ましくなく、大学卒業後、職業経験を備えた人
小論文	3種類 1. 略歴（2ページ以内） 2. 勉学の目的（2ページ以内） 3. 関心事や活動（1ページ以内） 1と2は留学国の言語に翻訳のこと	2種類 1. 略歴 2. 勉学の目的 1と2併せて5ページ以内。留学国の言語に翻訳のこと
語学力	多くの奨学生が少なくとも2カ国語に堪能と思われるが、必ずしも条件ではない（米国人がオーストラリアに留学するケース）	少なくとも2カ国語に堪能でなければならない（米国人がオーストラリアに留学する場合でも、英語以外の言語に堪能でなければならない）
海外での体験	10歳になってから6カ月以上滞在または勉学した地域を志望できません	海外に滞在した経験があったほうが望まれます。以前ロータリー財団国際親善奨学生として留学した大学に再度留学することも可能
指定校	奨学金候補者が1カ国2校、合計5校を志望し、管理委員会が最終的に大学を指定	日本の場合、国際基督教大学を除くロータリー・センター・パートナー大学6校に、志望順に1から6の番号を振ります。世界競争選考委員会の勧告に基づき管理委員会が最終決定

「財団学友会」の現状と期待

地区財団学友委員会 委員長 藤田 守彦

2760地区のロータリアンの皆様には「財団学友会」に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

11月は「財団月間」という事で、改めて学友会について御案内をさせて頂きたいと思います。

御承知の様に財団には6つのプログラムがあります。学友会もその中の一つであり、余り目立ちませんが重要な任務を果たしております。

学友会は、ロータリー財団奨学生（国際親善奨学生）として外国で学問を終了した学生と、これも財団プログラムですが研究グループ交換（GSE）を終了したチームメンバー、ロータリー平和奨学生、大学教員の為のロータリー補助金受領者で構成されています。

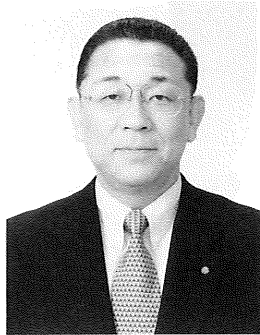
特に奨学生は選考合格が決まった時点で自動入会となり終身学友会員となります。2003年11月現在、当地区には320名、日本には8,336名の学友が活躍しています。

元国連難民高等弁務官の緒方貞子さん、作家の牧野高吉さん、指揮者の松尾葉子さん最近では宇宙飛行士になる角野直子さんも学友会の一員です。

それでは私共、学友委員会の仕事を御紹介します。まず次の様な行事を主催します。7月には奨学生の為の「ガイダンス」をします。この行事は奨学生に決定された諸君に対して今後どの様な方法で留学先を決定してゆくのか、またロータリークラブの概要、考え方などを指導します。2月には奨学生の為の「オリエンテーション」をします。この行事は、ほぼ決まった留学先への最終確認の仕方、現地での注意事項などを指導し、5月には財団学友会「総会」をかねて留学先の決まった奨学生への壮行会を行ないます。

また、各行事の間には奨学生からの個別の相談にも応じています。

これらの行事はすべて、学友委員会と学友会代表幹事、幹事、会員が一緒になり行います。その他ロータリー財団学友の正確で最新の情報を維持



する為の資料も作成管理しています。この資料は地区や各ロータリークラブの活動に学友の参加を推進する為の基盤となります。

また、メーリングリストを作成し、新しい奨学生の登録を行い先輩学友への質問、回答など留学までのアドバイスなどがメールで交換出来るようにしています。

次に学友への期待ですが、学友の場合それぞれの分野にて専門知識を習得した人が大半であり、この専門知識を国際ロータリー、ロータリー財団への支援の為に役立てて欲しい事です。また、帰国後2年から3年は地区内各クラブの例会に出席して卓話をしたり、ガイダンス、オリエンテーション、総会に積極的に参加をして、次に出発する奨学生に対して適切なアドバイスをする事。それが援助してくれたロータリーへの貢献になりますし、その事をスポンサークラブからも助言して頂きたいと思います。

この様に学友会活動に積極的に参加をして地区財団学友委員会と共に学友会組織の充実と活性化に努力をして貰えば更に良き循環となると考えます。

最後に課題として、財団学友委員会と学友会幹事の皆さんとの関係があります。これはロータリアンからの声かけが一番大切です。

年度によって学友委員会のメンバーは変わりますが、学友会幹事の皆さんはある時期まで永く役をされます。その中で意思伝達が巧くいけば、縦、横の繋がりとして学友会活動は活性化される事となります。

簡単な様で難しい事ですが、地道な活動が実を結ぶ事と思います。さりとて、これも2760地区のロータリアンの力なしで実現出来ません。財団学友委員会も「誠心誠意」努力致しますので更なる御支援を御願い申し上げます。

恒久基金について

地区恒久基金委員会 委員長 本多 啓一



恒久基金とは・・・

恒久基金とは財団管理委員会が、世界理解と平和のためのロータリー財団基金（1982年に発足）に代わるものとして、1994年新たに採択した名称です。

財団管理委員会は、この基金の目的を世界中のロータリアンによりよく理解してもらうために、この改称を行いました。新しい名称の「恒久基金」は、この基金の本質的特徴を表現しています。

財団の強固な将来を確実なものにするために、財団管理委員会は恒久基金への新しい推進を認可しました。2002年6月30日現在、恒久基金の累計額は9,100万ドルです。この基金は永久的に運用され、その収益のみが財団の各プログラムに使用されます。

その収益は人道的、教育的プログラム活動の益々増大していく費用を満たしていくために必要な、年次寄付のほかもうひとつの収入源を提供します。目標はロータリー創立100周年記念の2005年までに5億ドルと設定されています。国際ロータリーは、国際奉仕における世界の指導的役割を持つロータリーへの献身の表明として、ロータリー財団の恒久基金を特に支援するようにロータリアンに奨励しています。

年次寄付と恒久基金寄付は同時に重要であり、両方でお互いに補い合っています。年次寄付は今日の財団プログラムを支え、恒久基金は明日へのプログラムを安定したものにします。

ベネファクター（後援者）について

恒久基金は金額を問わず、いくらでも寄付することができます。ベネファクターとは、恒久基金

に1,000ドル以上の無条件寄付をする人のことで、バッジと表彰状を受け取ることができます。現在、世界にベネファクターは約57,000人おり、日本では約15,000人がなっています。当地区では現在、470人のベネファクターがいます。

当地区の目標は、毎年各クラブ1名のベネファクターを出して頂くことですが、残念ながらまだベネファクターのいないクラブも10クラブほどあり広報が今後の課題です。

大口寄付者について

年次寄付、恒久基金寄付の合計で10,000ドル以上寄付した人を大口寄付者と言いクリスタル製の置物と表彰状を受け取ることができます。大口寄付者は、現在世界で約4,120人、日本では約410人います。当地区では、大口寄付者はまだまだ少なく、地区大会での表彰などで広くPRをする必要があります。

ポリオプラス

地区ポリオプラス委員会 委員長 山内 登

ロータリーは、故アルバート・セービン博士の助言を得て、1985年にポリオ・プラス・プログラムを設けました。

ポリオと共にハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして、同時追放を目的としているため「ポリオ・プラス」と呼んでいましたが、ポリオ・プラスの「プラス」は最初の頃の意味と変わってきました。

現在は、世界的なポリオ撲滅運動がもたらした遺産の事を指しています。これは将来の保健活動に生かすことが出来ると思います。

ここで、ポリオ撲滅キャンペーン活動に関する最新情報をお知らせ致します。

2002年に1900件の発生例が報告されました。これは、10カ国において480件が報告された2001年よりも増加しています。

2002年発生例の90%は、インドとナイジェリアにおける突発的な発生によるものです。この急激な発生は、免疫付与活動の強化により対処されることとなります。両国とも、今年、監督活動の強化をもって再度の補足的な全国予防接種の日の実施が予定されています。ほとんどのポリオの発生国は、2002年の世界的な発生例の80%がインド・ナイジェリア及びパキスタンの地理的な地域に限定されており、これら3カ国の76州／地域の内の6つのみに見られました。209カ国においては発生はなく、多くの区域及び地域にも現在ポリオの発生例がなく、これらの内の134地域は、独立機関によりポリオ無発生の認定を受けました。

朗報は、ポリオが引き続き地理的に限定されていることです。ポリオ伝染病の発生を報告している国の数は、2001年の10カ国から2002年の7カ国に低下しました。

その他、2カ国が、2002年にポリオの持ち込み発生を報告しています。外部からの侵入に苦しんだ国の一つにブルキナファソ（ナイジェリアの北西部）がありました。それ以前には、1999年以来、1件のポリオ発生も報告されておりました。これは、全ての地域が安全となるまではどこも安全ではなく、もしも全体的に積極的かつ果敢にポ



リオの撲滅に取り組まなければ、いかに簡単にウイルスが伝染するかというもう一つの実例でもあります。

ポリオ撲滅募金キャンペーンへの皆様の募金で何ができるでしょうか？

※米価100ドルで、ブルキナファソの子供たちのために、1000服のポリオ・ワクチンを購入できます。

※米価500ドルで、輸送中のワクチンを適正な温度に保つ氷冷蔵庫を15個購入できます。

※米価 1,000ドルで1666人の子供に全国的な免疫を施すのに十分なワクチンを購入できます。

※米価 5,000ドルでワクチンの適正な温度を維持するための冷蔵庫と冷凍庫を3つ購入できます。

※米価 20,000ドルで、遠隔地の村落にワクチンを運び監視活動を実施するための4輪駆動車を購入できます。

※米価 50,000ドルで、免疫付与センターへ親子供を連れて来させるために、ラジオ・テレビ及び新聞に必要な報道広告を放送あるいは掲載することができます。

「ポリオの無い世界が実現可能なことを認識させてくれたロータリアンに感謝します。皆さんは、地球上からポリオを撲滅するという挑戦を受け入れ、遂行するために世界の触媒の役目を果たしてきました。」

この情報は、ビル・ゲイツ及びメリンダ・ゲイツ財団からもたらされたものです。

現在行われているポリオ撲滅キャンペーンは、2002年7月より8,000万ドルの募金キャンペーンがスタートしました。第2760地区においては、2002～2003年度から2004～2005年度に至る3カ年でロータリーメンバー一人米価150ドルの寄付をお願いする活動をしています。

2005年（R. I. 設立100周年）に、世界ポリオの完全撲滅を宣言出来ます様、地区内クラブの絶大なるご協力をお願い致します。

研究グループ交換 (GSE)

地区研究グループ交換委員会 委員長 矢形 修己



皆様、こんにちは。私たちGSE(研究グループ交換)委員会は、ロータリー財団の国際交流プログラムです。ロータリアン1名と25歳から40歳までの専門職の社員4名で約4週間 国を異にする2つの地区でペアを組んで、お互いの文化と職業を交流する場を提供する委員会です。

ロータリー財団のWF（国際財団活動資金）で調達、皆様の大切な資金を運用するたいへん重要なプログラムです。02-03年度から、派遣と受入が隔年になりました。

昨年の岡部ガバナー年度では、RI第9520地区（南オーストラリアの4州）アデレードに(3/22～4/23)派遣いたしました。派遣の際、この地域の文化、歴史、経済などのプレゼンテーション作成、お土産の選定、着付け、英会話などに、10回の会議を開催しました。

もちろんガバナー、関連委員会、GSE委員会の承認を得て、手作りで作っていきます。

しかし作った甲斐があり、現地（オーストラリ

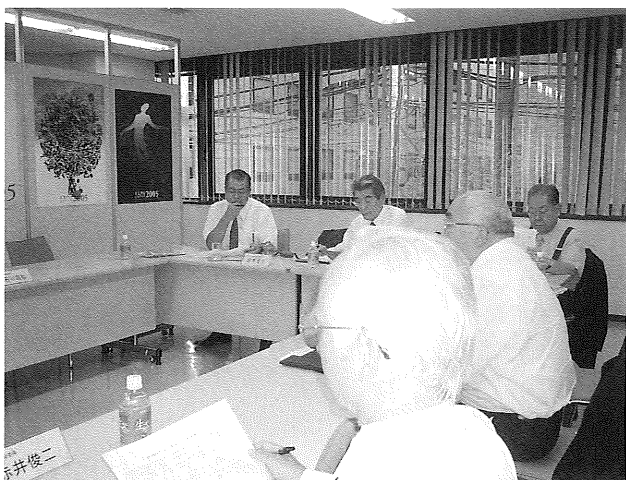
ア）では、感動を生む機会が驚くほど、たくさんあり、帰国したメンバーは大きなエネルギーを得て帰ってきます。

また、ガバナーが応援に現地訪問する委員会も私どもだけではと感動しています。昨年は現地での山火事に皆様のワンコイン募金で特別いただいた義捐金（35,000オーストラリア\$）を岡部ガバナーとお持ちして、現地からも感動が聞こえてきました。

今年は受入です。委員会も公式には12回、非公式も入れますと年間20回強 開催されます。11月にRI第9520地区から来日されます。今年度から、8分区から4分区での隔年で担当していただき、余裕のあるスケジュールで展開していこうと思います。すでに、大半のスケジュールは決まり、ホームステイなど詳細の調整に入っています。

今年度は豊島ガバナーの特別なお取り計らいにより、地区大会で時間をいただけます。

是非、ご覧いただき、委員会の活動に、ご理解、ご支援、ご参加いただければ、たいへん有難く存じます。また、たいへん、感動とロマンを生む委員会です。地区委員会へのご参加も合わせて、賜りますよう心からお願い申し上げます。



第1回地区クラブ奉仕委員会

日時：2003年7月4日（金）

場所：地区事務所

地区クラブ奉仕委員会 委員長 片山 主水

新年度第1回地区クラブ奉仕委員会が豊島ガバナーはじめ河合ガバナー補佐、瀧地区幹事、林地区副幹事の列席のもとに、松前憲典地区ロータリーの友委員、細田周一会員増強副委員長、塚本胤男地区広報委員長、浅野彰地区インターネット委員長の参加をえて、昨年度の準備会に引き続いて開催されました。

ガバナーはクラブ奉仕委員会に対し、RIのテーマ「手を貸そう」および特に本年度の強調事項「ロータリー家族への心遣い」について訓話され、委員会はこの趣旨を受け、本年度地区に当委員会のもとにロータリー家族小委員会を設けることを決し、同委員会の今後の進め方等を協議し早急に各クラブにも同名の委員会の設置を働きかけることとなった。

そのほか、魅力あるクラブ作り、クラブの委員会の整理・統合、ロータリー100周年記念、万博参加等について協議した。

■協議事項

- (1) クラブ奉仕委員会の方針について
 - 1) ロータリー家族小委員会の新設について
 - 2) 魅力あるクラブ作りについて
 - 3) 各クラブの委員会の整理・分合について
 - 4) 100周年記念・国際博について
 - 5) 関連委員会事項について
(会員増強・広報・雑誌・インターネット)
 - 6) クラブ奉仕委員長会議について
 - 7) その他 スピーカーリスト

地区社会奉仕委員会

日時：2003年7月17日（木）

場所：ホテルキャッスルプラザ B1F佐久良

地区社会奉仕委員会 委員長 大野 義彦

■議題

- (1) 前年度委員会の活動報告
- (2) 名古屋22RCの今年度の活動報告
 - 1) CAPNAへの支援（継続事業）
 - 2) 盲導犬育成事業への支援（新規事業）
- (3) 今年度の委員会活動について
 - 1) 書き損じハガキの収集、使用済み切手の収集については今年度は地区としてまとめてお願いすることはしない。
 - 2) 地区大会の各クラブ社会奉仕委員会活動の展示については行う予定であり、後日各クラブに提出を依頼する予定。
 - 3) 地区内クラブ社会奉仕委員長会議については、2004年2月26日（木）4：00 p m～7：00pmホテルキャッスルプラザにて行う予定
- (4) RCCガイドブックについて



第1回拡大委員会

日時：2003年7月10日（木）

場所：地区事務所

■議事次第

1. ガバナー挨拶
2. 出席者紹介（自己紹介）
3. 委員長挨拶
4. ミーティング
5. カウンセラー各氏より講評
6. その他

第1回地区広報委員会

日時：2003年8月8日（木） 場所：地区事務所

当日は台風の余波で足元の悪い中でしたが、皆様ご出席を賜り厚くお礼申し上げます。当日の議題は来る10月24日（金）名鉄グランドホテルにおいて開催を致します。地区クラブ広報委員長・雑誌の各委員長にお集まりをいただきます、前回ロータリーの友編集長が都合により中止になっていましたので今回は講演をお願いしようと言う事でお話していただくことになりました。演題は“ロータリーの友の編集方針について”ということをお願いしました。又、内藤明人バストガバナーには昨年もお願ひしましたが今年も再度お願いをして、“2005年国際博覧会「愛地球博」の成功を目指して”と題してお話をいただくこととしました。その後で日仏シャンソン協会日本支局長加藤修滋様のお話で「愛知万博」イメージソングとして親しまれている「ブラボー！ムッシュ・ルモンド」地球讃歌をタイプAの方々に歌っていただきます。昨年度RI広報賞を受賞されました名古屋千種RC会長大口弘和様よりお話を伺います。又、休憩時には中部経済新聞社伊藤様よりお話をいただきます。等々を討議いたしました。

豊山—城北ロータリークラブ

会長：小原 久和 幹事：津坂 守英
会員数：31名

名古屋空港ロータリークラブ

会長：千田 雄三 幹事：村瀬 富三夫
会員数：52名

開催日：8月19日（火）

場 所：名古屋栄東急イン

事前の懇談会そして卓話において、ジョナサンB マジニアベRI会長の方針について実例をもって丁寧に解説していただき、我々のクラブがどのように消化し、対応していくのか、納得のいくお話でした。会員増強・維持における適切な方法、ロータリーの配偶者・家族に対する接し方、RCの社会的行動の実行とその評価の受け止め方について、さらにインターネットにおけるメーキャップについてなど、会員にとってこれからのRCについて考える非常に有意義な例会となりました。

**岡崎ロータリークラブ**

会長：加藤 信吾 幹事：吉川 正敏
会員数：104名

岡崎東ロータリークラブ

会長：杉田 雄男 幹事：岩月 春樹
会員数：80名

開催日：8月20日（水）

場 所：名鉄岡崎ホテル
12階葵の間

今年は冷夏の天候でありましたが、この日は酷暑の一日でありました。例会前の午前11時より同ホテル10階で豊島ガバナー・瀧地区幹事と岡崎RC・岡崎東RC各会長・幹事・会長エレクト・副幹事の10名で懇談会を開催致しました。

約1時間の間、豊島ガバナーよりRI・地区方針を直接お聞きする事が出来、又、豊島ガバナーの私的なご意見も聞く事が出来て、よく理解出来た次第です。第2760地区の会員の減少状況を説明され、退会防止の大切さをご指導頂きました。退会防止は、入会時の教育が大切であり、しっかりと説明して下さいと具体的にご指導頂きました。

例会は、午後12時30分から午後1時30分まで同ホテル12階で開催致しました。岡崎RC加藤会長の点鐘で始まり、ロータリーソング我等の生業を斉唱し食事に移り午後12時48分より岡崎RC加藤会長の挨拶そして出席報告・ニコニコ報告と進み、豊島ガバナーから素晴らしい卓話を頂きました。例会後、写真室で2クラブそれぞれ記念の写真を撮影して全ての行事を終了しました。豊島ガバナー・瀧幹事に心から御礼申し上げます。

豊橋ロータリークラブ

会長：長屋 孝美 幹事：森田 通夫
会員数：117名

開催日：8月21日

場 所：豊橋グランドホテル

当クラブは例会前の午前11時より会長・副会長・会長エレクト・幹事・副幹事の5名の出席で、45分間ご指導をいただきました。その後20分間NHK・地元報道関係者4社による記者会見を受けていただきました。12時10分より豊橋RC伝統のコスチュームを着けた河合S.A.A.の先導で例会場へ入場、石川P.G.の乾杯で例会が始まり豊島ガバナーの熱意溢るスピーチをいただき、13時30分無事ガバナー公式訪問を終えることができました。

その内容は、第1はRIの方針をそのまま日本にあてはめることの困難さがあり、日本は独自のロータリー活動があっても良いのではないかと。

第2は会員の減少する中でロータリー活動について家族の理解を求めることの大切さ。特に「鉄は熱いうちに撃て」と入会時家族を含めての教育の必要性。第3に愛知万博の成功へ向けてガバナーの負う責任の重さと熱意を感じました。我々、一般会員も万博を我がことと考えて、積極的な応援、協力の姿勢を持つことが必要であることを強く感じました。当クラブの会員も強く意識付けを受けたものと思います。

津島ロータリークラブ

会長：高木 輝和 幹事：加藤 則之
会員数：78名

あまロータリークラブ

会長：堀江 承元 幹事：後藤 雅光
会員数：92名

開催日：8月22日（金）

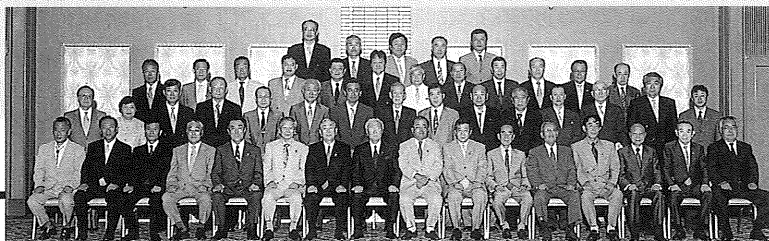
場 所：名鉄グランドホテル

冷夏といわれる今年、しかしながら、残暑厳しいなか公式訪問、合同例会を開催いたしました。

当日、例会に先立ち、ガバナーによる会長・幹事懇談会では、豊島ガバナーの気さくで暖かい人柄に接し、和気藹々の中、会員増強、国際大会、万博、財団、GSE等多義ご指導、助言をいただきました。また、クラブ運営についても大変参考になるお話をいただきました。

そして、例会での卓話では、RIテーマ「Lend a Hand」についての説明と、それを受けての地区方針、また、温故知新を旨とした新たな21世紀のRIを創設してゆく必要性和使命感を、わかり易く、時には、ユーモアある話し方でご講演いただきました。

また、ゲストとして、あまクラブからの元ロータリー財団奨学生でドイツの音楽大学に留学されていた、オペラ歌手の石津なをみさんに食事中二曲歌っていただき、ガバナー公式訪問例会に色を添えていただきました。皆、彼女の歌に聞き入り、より和やかな、大変すばらしい例会になりました。



名古屋栄ロータリークラブ

会長：小島 興一 幹事：八神 基
会員数：82名

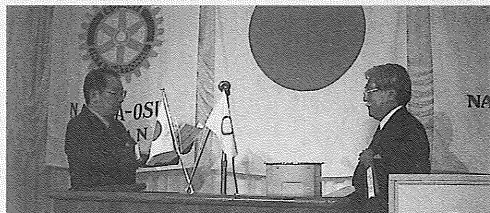
名古屋大須ロータリークラブ

会長：吉田 隆彦 幹事：飯田 昭夫
会員数：68名

開催日：8月25日（月）

場 所：名古屋クレストンホテル

例会に先立ち合同で懇談会を行いました。退会防止や会員増強など各クラブの悩みについて他クラブの状況を織り込みご指導を賜りました。さらに、例会では、豊島ガバナーからR I会長ジョナサン・マジアベさんの今年度のテーマである「手を貸そう」について具体的に何に手を貸すのかについて詳細な説明を受けるとともに、奉仕活動の取り組みについて繊維の縦糸と横糸を引用しながら、ガバナー自身トップにいたるのではなく、逆三角錐の底辺で会員の仕事を支え、オーガナイズする積りである旨のお話があり、会員一同深く感銘を受け例会を終える事ができました。

**知立ロータリークラブ**

会長：齊藤 吉博 幹事：神谷 太一
会員数：62名

刈谷ロータリークラブ

会長：加藤 恒治 幹事：加藤 俊二
会員数：90名

開催日：8月27日（水）

場 所：知立セントピアホテル

- (1) 新世代を担う若者達の心の支えとなる奉仕活動をしよう
- (2) 環境保全に努力しよう
- (3) ロータリー財団や米山奨学会に会員として努力しよう
- (4) 会員の維持、増強を図ろう
- (5) 2005年「愛・地球博」ロータリー館建設事業の推進

以上の5つの地区方針を大変丁寧に説明を頂き、その後両クラブの年次計画に基づき、クラブごとに適切なご指摘とご指導を頂きました。また、合同例会においては、ガバナーより「まず始めに、5482という数字を申し上げます。これは、2003年7月1日現在の第2760地区会員数であります。前年同期比マイナス255名となっております、このことをまず念頭に置いて頂きたい。」という会員減少の危機感のお言葉から始まり、R I会長のテーマ「手を貸そう」をもとに、お話をさせて頂き、その後ポリオプラス追加寄付、国際博の問題について多くの時間をかけて、わかりやすくお話を頂きました。

**蒲郡ロータリークラブ**

会長：近藤 克義 幹事：鈴木 康仁
会員数：67名

開催日：8月29日（金）

場 所：蒲郡プリンスホテル



豊島ガバナーがR I会長のジョナサンB. マジアベ氏に直接会われ、聞かれた「手を貸そう」のお考えについて改めてご説明いただくところから会議は進められた。ガバナー自身がこの1年間は「R Iのしもべ」であるという表現で、第2760地区メンバーに対し協力を求める旨のお考えも披露され、近藤会長からは、「会員の多くがその経緯について関心のある、万博の寄付が豊島年度の冒頭に案内せざるを得なかった経緯」について率直に質問がなされると、その必要性も含めて、ガバナーとしてのお考えとご説明をいただいた。

このあと、各クラブ事業について、ガバナーよりご指導をいただいた。特に、本年蒲郡が創立50周年を迎え、平成16年3月27日に開催予定の記念式典についての内容説明に対し、ガバナーより、精神として華美に過ぎぬようご助言をいただき、当クラブの準備もまさにその線に沿ったものであることが近藤会長から説明され、重ねてガバナーの来蒲をお願いした。

また、ロータリー全体の問題でもある会員拡大については、是非とも各クラブ1名純増の必要性と共に、裏腹ではあるが、蒲郡における拡大に際しては是非数あわせのみに走る事の無いようお話をされた。

豊橋南ロータリークラブ

会長：中村 幸一 幹事：神谷 浩史
会員数：65名

豊橋北ロータリークラブ

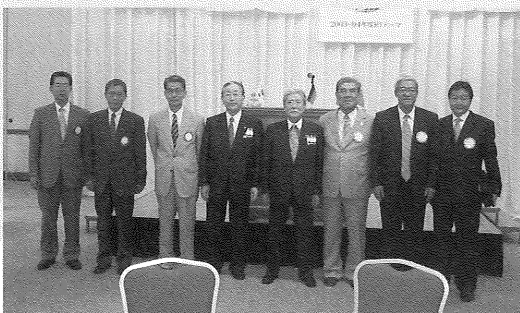
会長：坂柳 猛興 幹事：高倉 宣夫
会員数：102名

開催日：9月1日（月）

場 所：ホテルアソシア豊橋

準備万端1時間前に豊橋に車入されたガバナーは、寸暇を惜しんでその地域の見聞をひろめようと歴史的、文化的にも特色のある“豊橋市公会堂、豊橋キリスト教ハリストス正教会、吉田城跡等を廻って来たよ”とその好奇心旺盛な一面をかいま見させて頂きました。

公式訪問の主要な行事の会長幹事懇談会、例会でのR I会長、ガバナー方針の所信発表もスムーズに進行終了致しました。例会開始の点鐘の次に“本日はガバナー



をお迎えしての天覧試合と心得ております。プレーボール”の開会宣言と“天覧試合も皆様のご協力で無事終了致しました。ゲームセット”の終了宣言には多少ガバナーも驚かれた様でした。

名古屋名東ロータリークラブ

会長：武田 武司 幹事：加藤 常文
会員数：65名

名古屋千種ロータリークラブ

会長：小坂井 盛朗 幹事：舎人 経昭
会員数：68名

開催日：9月2日

場 所：名古屋国際ホテル

豊島ガバナーの公式訪問を終えて、当ロータリークラブは新たな思いに立っております。

当日のガバナーのご指導を受け、思いいたすところは、まず、景気動向が厳しいなか、如何に会員退会を防ぐか、そして内容を考えた上で会員増強を図る。当クラブはこの年度純増5名を目標としております。そのために、会員全員に情報提供ということで、文書にて協力を依頼しております。そしてクラブ運営になるべくファミリー単位で交流を深めていき、ロータリアンとしての誇りと喜びを高める。更に例会はあまり堅苦しくするのではなく、有意義で楽しいものになりたいと思います。できれば、ロータリーは出席ありきですので、その出席が待ち遠しいくらいの例会にしたい。

また、当クラブは韓国の普信閣ロータリークラブと昨年姉妹提携をいたしましたので、今秋は当方から訪問し、WCSの有効な実施法と提携の実を上げるために諸活動の打ち合わせをして参る予定です。

そして、世紀のイベントであります愛・地球博のロータリー館の建設費用について当クラブは進んで協力していこうと思っております。

現在、我がクラブは会員が漸減の方向にありますが、例会の楽しさを味わいながら、特に女性の会員を増やすことによって、少しでもクラブの活性化を図っていく所存です。

**名古屋南ロータリークラブ**

会長：鶴田 欣也 幹事：大岡 洋三
会員数：118名

名古屋瑞穂ロータリークラブ

会長：小串 和夫 幹事：松波 恒彦
会員数：78名

開催日：9月4日（木）

場 所：ヒルトン名古屋

午前11時より懇談会を開催し、両クラブより会長、会長エレクト、幹事、副幹事参加のもと、ガバナーよりクラブ運営について適切なアドバイスを頂くことができました。

名古屋瑞穂RCの

- (1) 毎年恒例的に熱田区6小学校との蛍共同飼育の奉仕活動をしていること（熱田神宮放流）
- (2) 台北延平RCとの姉妹提携や国内では福岡西RCと札幌手稲RCとそれぞれ友好関係にあること

名古屋南RCの

- (1) 「入会のしおり」を作成して会員増強に努めていること
- (2) 歴代会長への諮問機関として「長期ビジョン協議会」があること
- (3) サンパウロ南RCとの姉妹提携が10周年を迎え8月に公式訪問したこと

それぞれのクラブが特長を持って熱心に活動していると豊島ガバナーより高い評価を頂きました。

例会においては豊島ガバナーより

- (1) 会員一人一人が会員増強につとめて欲しいこと
- (2) 2004年度の5つの地区方針に努力して欲しいこと
- (3) ロータリー財団・米山記念奨学会に対する寄付と国際博に対する寄付を切にお願いしたいこと

以上大変有意義な卓話をいただくことができました。

**小牧ロータリークラブ**

会長：舟橋 章好 幹事：舟橋 重喜
会員数：75名

春日井ロータリークラブ

会長：寺倉 勇 幹事：竹内 良一
会員数：75名

開催日：9月5日（金）

場 所：名鉄小牧ホテル

ガバナーより織物にたとえて縦糸と横糸があって、始めてよい織物ができる。縦糸は自分の奉仕であり、横糸とは地区での委員会を通しての奉仕活動である。各ロータリークラブはそれぞれの特長を生かすべきである。物事を義務感でやっていると苦しい。人に手を貸せる、人にしてあげられるということは幸せであると考えて奉仕活動をして欲しいと話され、クラブからの報告に種々助言をいただきました。例会においての卓話で、ガバナーは今年度RI会長の人柄及び今年度のRIテーマ「Lend a Hand」について話され新しい次世代の若者達への深い関心を持って奉仕活動を誠心誠意行っていこうと訴えられました。

最後にRI財団、米山奨学会、国際博ロータリー館建設費等寄付をお願いすることが多いが、理解と協力を訴えられました。

**犬山ロータリークラブ**

会長：蛸原 嘉彦 幹事：大島 克己
会員数：90名

江南ロータリークラブ

会長：岩井 正彦 幹事：大森 春彦
会員数：64名

岩倉ロータリークラブ

会長：山内 嘉久 幹事：関戸 一雄
会員数：19名

開催日：9月9日（火）

場 所：名鉄犬山ホテル

残暑厳しい中、事前の会長・幹事との懇談会では、ガバナーより会員増強特に女性会員獲得の必要性、クラブ組織強化のために中堅会員の果たす役割の重要性、2005日本国際博覧会に対する協力等について意見交換をし、適切な助言を賜りました。

又、例会では、RI会長方針の趣旨、若い方々を中心とする会員増強、ロータリー財団との関係強化を図り、新しい地区補助金制度などの有効な活用等の必要性を強調され、ロータリー活動の大切な指針を示していただき、例会を終えました。



■名古屋守山ロータリークラブ■

会長：山田 達樹 幹事：森 藤左エ門
会員数：67名

■名古屋北ロータリークラブ■

会長：松永 亮 幹事：岩月 忠和
会員数：100名

開催日：15年9月10日（水）

場 所：名古屋マリオットアソシアホテル 16F アゼリア

事前懇談会では、クラブ運営に対して、又、ロータリー活動全般に対してご指導と助言をいただきました。特に、万博ロータリー館の事業に対しては明解にご質問に答えていただきました。後の例会では、わかりやすい語り口のご講演によって、本年度のR I方針、地区の事業、そして独自性を持ったクラブ運営のご示唆をいただきました。

私共は、これを糧としてロータリー活動に邁進したいと思います。



■半田ロータリークラブ■

会長：竹内 尚哉 幹事：平林 伸康
会員数：69名

■半田南ロータリークラブ■

会長：沢田 信 幹事：榊原 徳三
会員数：55名

開催日：9月11日（火）

場 所：レストラン白山

11時からの合同会長幹事懇談会では、終始和やかな雰囲気の中で、クラブの諸委員会のあり方や会員増強などロータリー活動についてのご指導を頂きました。又、愛・地球博への協力も依頼されました。

その後の合同例会では、豊島ガバナーから、半田RCへ米山奨学会3千万円達成クラブの感謝状贈呈式もありました。また、ガバナーの卓話では、1月のアナハイムでの、R I会長マジアベ氏と直前会長ラクル氏との個々の握手の印象の違いから始まり、本年度のR Iテーマや地区方針・会員増強のアイデア等を熱っぽく語られ、最後に愛・地球博への協力をロータリー丸となって推進しましょうと訴えられ閉会しました。



■豊田東ロータリークラブ■

会長：中根 茂 幹事：梅村 憲一
会員数：82名

■豊田ロータリークラブ■

会長：藤井 伸三 幹事：孕石 邦夫
会員数：79名

■豊田中ロータリークラブ■

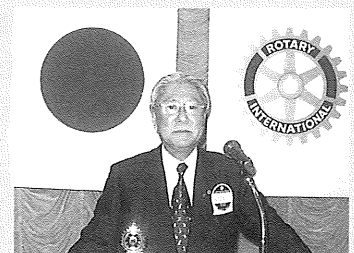
会長：福岡 輝夫 幹事：桜井 博
会員数：52名

開催日：9月17日（水）

場 所：ホテル豊田キャッスル

例会の前に各クラブ毎に会長幹事懇談会が行われ、ガバナーよりロータリーについてのご指導を頂くことが出来ました。今後の活動に役立てたいと思います。

例会では豊島ガバナーより卓話を頂き本年度R Iテーマであります「手を貸そう」のお話から4つの強調事項さらにガバナーご自身の5つの方針についてのお話をいただきました。最後に2005年国際博覧会の成功にさらなる努力を続けましょうとお願いがあり公式訪問を通じて会員の皆さんとお会い出来ることがとても幸せなことであるかとお話を頂き、大変有意義な時間を過ごすことが出来ありがとうございました。



■名古屋和合ロータリークラブ■

会長：安井 隆豊 幹事：加治佐 健二
会員数：100名

■名古屋東山ロータリークラブ■

会長：小早川 慶光 幹事：吉田 輝利
会員数：60名

開催日：9月18日（木）

場 所：ホテルウェスティンナゴヤキャッスル

会長・幹事懇親会においては、お二人より両RCに対しの確なコメントを頂き、和気藹々としたムードでした。

例会卓話においては、過去に海外在住経験のある豊島ガバナーらしいインターナショナルなお話で、新しいロータリアンにも理解しやすく、またこれからのロータリーの新たな方向性を感じました。ロータリーとして、過去からの良いところは残し、改善すべき点については出来るだけシンプルにと、所謂「温故知新」的にクラブ運営をしていくようアドバイスを頂きました。

その中でも、特に2005年の愛知万博には、ロータリーとして積極的に参加・協力していくことを、会員として強く再認識させて頂きました。



会員増強委員長会議

地区会員増強委員会 委員長 光岡 朗

日時：8月5日（火）

場所：名鉄グランドホテル

約100名の来賓・各クラブの会員増強委員長さんにお集まりいただき、会議を開催した。

■第一 会議次第は次の通りである

午前11時開始

挨拶 豊島徳三ガバナー
神戸政治RIMC
宮崎茂和RIMC
河合博文ガバナー補佐

会議の説明 光岡 朗会員増強委員長
10テーブルに、抽選で着席。各テーブルの司会者は地区増強委員になる。書記・発表者を選出した後、テーブルごとに討論を開始した。

議題は8項目あり、これを基に自由に話し合ってもらう。

- 11：45～12：15 自己紹介、担当等の確認を行い、討論開始。
- 13：00～14：30 討論再開。(90分)
- 14：30～15：30 テーブルごとの討論結果の発表。(60分)
- 15：30 質疑応答と特別出席者の講評

■第二 会議のコメント

会議の概略は8月8日の中部経済新聞に載った。又会議の内容を要約した会議録は、各クラブにメールされている。是非ご覧になっていただきたい。

◎豊島ガバナー

会員の維持・増強・拡大に努力して欲しい。会員増強委員会に任せるだけでなく、一人一人の身の回りから、増強を考えて欲しい。増強の前に会員の減少をどう防ぐかです。

◎神戸RIMC

二つのことを申し上げたい一つはクラブ独自の増強マニュアル、方針を決めて欲しい。もう一つは大会の防止です。退会者を少なくするよう活動してください。

◎河合ガバナー補佐

2760地区の会員数は、6年前6,400名でした。現在は5,400名で1,000名減少しています。本年会員増強に力を入れていただき、必ず増やしていただくようお願いします。

◎宮崎RIMC（福井RC 2650地区PDG）

- 1) ロータリーのイメージが今ひとつ。金持ちの昼食会か。
- 2) ロータリアンとしての活性の低下。奉仕意欲の低下。参加人数の低下
- 3) 会員増強をしようとするやる気の低下。トップの燃えるような情熱が欲しい。
- 4) 景気の後退が錦の御旗になっている。それだけで辞めた人は以外に少ない。
- 5) 新会員に対する配慮が薄い。3年未満でやめる会員は3/4になっている。
- 6) 辞めていった人に対する調査をし、クラブに何か原因はないか。
- 7) 奉仕に対して感動を得ることが少ない。

宮崎PGはパワーポイントを使って約20分間話された。

来賓の挨拶の後各自討論に入ったが討論の議題は次の8項目であった。

- 1) 貴クラブにおける昨年度の増強実績と本年度の増強目標（純増）
- 2) 会員増強のためにクラブでどんなことをしていますか。
- 3) 退会防止のためにどんなことをしていますか。
- 4) 新入会員にどんな研修をしていますか。（回数・内容・担当委員会など）
- 5) 新会員がクラブになじむためにどんなフォローをしていますか。
- 6) 会員親睦のための事業、行事はどんなものがありますか。
- 7) 会員の親睦行事にご夫人（またはご主人）はどのくらい参加していますか。
- 8) その他

女性会員・親子会員に関するご意見。

これらの議題に対して、多くの意見がテーブルごとに交わされた。これらの内容については、各クラブに議事録がお送りしてあるので是非お読みください。



職業奉仕委員長会議

日時：2003年8月26日（火）
場所：名鉄グランドホテル

地区職業奉仕委員会 委員長 関口 宗男

はじめに
豊島ガバナーが「ロータリーでは会員一人一人が職業における高い倫理観を持



つことが求められている。職業奉仕の父といわれているアーサー・フレデリック・シェルドンは、最もよく奉仕するもの最も多く報いられるという標語を提唱し、シェルドン以降に四つのテストにまとめられている。この職業奉仕の理念を実践していくことが必要である。」あることを強調された。その後、田中毅第2680地区パストガバナーより『職業奉仕の重要性と未来展望』という演題でグラフィック画面を駆使して約2時間の講演がありました。

その後、8分区に分かれてフォーラムを開催し、出席者より田中パストガバナー、豊島ガバナーに対して質疑応答がなされました。

なお、田中PGの講演録の講演集は各クラブに10月上旬までには送付する予定です。

クラブ米山 奨学委員長会議

日時：2003年8月28日(木)
場所：ホテルキャッスルプラザ

米山奨学委員会 委員長 加藤 知成



月末の大変お忙しい時期にも拘わらず殆ど全クラブの委員長及びその代理の方々にご出席頂きました。

会議は小山地区委員の司会の下に、米山記念奨学会の評議員でもあります豊島ガバナーの挨拶に始まり加納パストガバナー(米山記念奨学会理事)に米山記念奨学会の現状と方針についてお話を頂きました。その後、クラブ米山奨学委員会の活動と役割、奨学生の選考と奨学制度、寄付金と表彰制度、世話クラブとカウンセラー制度、米山奨学生学友会(愛知)について、私、大西副委員長、浅野副委員長、竹内地区委員、鈴木副委員長の順でお話致しました。その後、藤本地区委員のリードの下で質疑応答の時間を設けました。お陰様で熱のこもった会議になりました。

懇親会の席では、ビデオ放映の後、坪井ガバナー補佐の音頭で乾杯し、懇親を深めました。

2002～2003年度 派遣留学生帰国報告会について

日時：2003年8月23日（土） 場所：桜花学園高校音楽室

地区青少年交換委員会 委員長 大谷 和雄

豊島ガバナーのご挨拶ののち、神田国際奉仕委員長から青少年交換の歴史が話され開会いたしました。

この年度は理由は不明ですが希望者は8名でした。例年に比し極端に少なかったように思います。然し夫々が希望する国へ行けたということは幸せなことであったと思います。

どの留学生も困ったことは「言葉」だったようです。それでも3ヶ月ほど経つと友人もでき積極的に文化を学び親善大使としての意欲

が出て来たようです。どの留学生も一番印象に残っているのは、ロータリー留学生とともに廻った旅行のようです。何日間も素晴らしい景色に触れ、友情を温め合う経験は何事にも例えられない思い出になっているようです。

留学生夫々は、得てきたものを表明し、二周りも三周りも大きくなった感じでした。

最後に木本前青少年交換委員長から講評があり会を閉じました。

第1回クラブ新世代委員長会議

日時：平成15年9月2日(火曜日) 15:30～

場所：名古屋マリオットホテル

地区新世代委員会 委員長 藤井 忠

2003～04年度クラブ新世代委員長会議には、地区内80クラブ新世代、IA、RA、RYRAの4委員会 委員長150名の出席の下開催された。会議前にIA、海外研修者36名の活動状況がビデオで報告された。会議は、豊島ガバナーが地区方針として、若者達へ深い関心をもち「心」の支えとなる活発な活動を期待しているとの挨拶をいただき、新世代、IA、RA、RYRAの各委員長より事業の内容、報告と協力を求めた。

講演では、前川昭一ガバナー会青少年育成委員長が「青少年育成とロータリー」と題し、今の日本教育の乱れに対して、ロータリーが教育問題に取り組む事となった経緯の説明後、ロータリークラブが地域の小・中学校に講師の派遣と職場体験させる事業所のリストを作成することにした2760地区でも青少年にロータリアンが持つ知識と事業所を開放して体験学習に積極的に参加して頂きたいとの要望があった。

具体的活動として

- ロータリーが学校へ派遣する講師の名簿を学校に出す
- ロータリーが受け入れる職場体験提供事業所の一覧表を学校へ出す
- その他学校と協力して地域に合った教育活動を行う

d. ロータリーと学校の橋渡しのためにロータリアンが学校評議委員になり、県、市町村の教育委員会と連絡を取り、学校に提出し、順次活動を開始する

フォーラムでは、「青少年の立場から」をテーマに岡山直樹IA顧問（安城学園）より学校の中では生徒は育たず海外研修の機会をロータリーが与えて下さって、生徒はたくましくなり感謝している。RAクラブはゴミ0運動、チャリティーバザー等、多くの活動を行っているのが、ロータリーから学ぶことが多く、アクトの人達は立派に成長している（ローターアクトクラブ地区代表 田中孝一）ライラ友の会はライラセミナーの受講者で結成され（去年度より）今ではセミナーの企画・運営等のお手伝いをしている（ライラ友の会副会長 山田葵）服部千之助（師勝中学）より職場勤労体験学習要項を示され企業の協力で大変助かり、アンケートでも好評を得ているとの発表もあった。

最後に豊島ガバナーより前川講師とフォーラム発言者に対する謝辞と子供達が悪くなったのは大人の責任である世の中を皆で良くする為、特に新世代活動に期待していると結ばれた。会議後の懇親会は和やかな内に終了しました。

第2回

回

地区新世代委員会

地区新世代委員会 委員長 藤井 忠

日時／2003年7月8日（火曜日）14:00～16:00

場所／地区事務所

- 日程
- 開会挨拶 田口茂利平ガバナー補佐
 - 報告
 - 教育プログラムの現状
(講師57名、職場47ヶ所)
 - ガバナー会に於ける青少年育成に関する内容
4地区実施中、他地区調査中、地区温度差大である
 - 議題
 - 第一回クラブ新世代委員長会議
 - 講師 直前ガバナー会議長
前川昭一（2580地区PDG）
 - 内容 テーマ 教育奉仕プログラム
 - 講演
 - 全体会議

③分科会（新世代、IA、RA、ライラ）

2) 教育プログラム

(1) タイトルの検討

講師＝ロータリーの応援隊、
事務所＝ロータリーの仕事場（仮称）

(2) 登録書式等の検討

8月中旬まで活用しやすく改正する

(3) 発送、収集日等のスケジュールについて

委員長会議当日登録用紙配布・説明
9月末～10月初旬 登録原稿締切
2月頃小冊子発行予定

3) その他

県教育委員会、市教育委員会に引継ぎ挨拶、
期日未定

4. 閉会

第6回

JGFR

名古屋大会

日時：2003年9月8日(月)

場所：名古屋ゴルフ倶楽部和合コース

大会事務局 名古屋中ロータリークラブ 藤田 雄三

準備については天候以外完璧という中、初めて大会が行われる和合コースにて、静かに明けました。早朝の雨も、準備の方が集合する6時頃には上がり、ホストとして数

ヶ月、頑張ってきた名古屋中ロータリークラブの会員を中心とした、関係者全員の祈りが通じたのか、絶好のゴルフ日和となりました。

競技は、出場された全国のゴルフプレーヤーが、絶妙な上手さで我々を感嘆させたことは当然としても、得筆すべきマナーのお陰にて、大変順調に進行することが出来ました。又表彰式も、大会会長・豊島徳三ガバナー、大会参与・瀧義孝地区幹事の素晴らしいご指導による、第2760地区の力を示すかのように大変盛り上がりました。最後に、名古屋中ロータリークラブ・杉本仁至大会実行委員長の感謝の言葉を、関係者の皆様にお伝えいたします。「ありがとうございました。」



国際大会情報

～楽しいイベントやショップで国際交流を深めよう～

＝友愛の家紹介＝

国際大会のひとつの花は、“友愛の家”のプログラムです。

大阪国際会議場のエントランスとリーガロイヤルホテルの大宴会場とロビー、また、ステージを含めて3階および2階のほとんどすべてがのすべてが“友愛の家”広場となります。

多くのロータリアンと気軽に触れ合う場にもなります。

展示ブース

- ・ロータリーの奉仕プロジェクトの写真展示
- ・ロータリー99年の歴史の流れを見る
- ・ロータリー第2世紀へ向けての計画

販売コーナー

- ・ロータリーグッズ
- ・日本のおみやげ
- ・その他、国際大会（関西）記念グッズなど

軽食コーナー

- ・サンドイッチ、ホットドッグなどの軽食や、お好み焼きやたこ焼きなど関西の食も取り揃える予定

呈茶席

- ・日本の伝統文化である茶道の体験コーナー。裏千家による茶道デモンストレーションを含めての紹介コーナー

イベントコーナー

- ・ステージでの日本舞踊、日本楽器演奏（三味線、尺八、琴、笛など）
- ・ジャズ、スウィング、ブラスバンドなどの演奏を予定
- ・他、大道芸、チンドン屋等の出演も計画中

インターネットカフェ

- ・自由にインターネットを楽しんでいただくコーナー

“友愛の家”もまだまだ計画段階です。上記は一例でこれから開催に向け、内容をさらに充実させるべく準備を進めてまいります。

“友愛の家”で、世界のロータリアンとの交流を深めましょう！

◎GSE派遣メンバーの紹介

名 前	職 業	職 業	スポンサーRC
Tom Gilbert トム・ギルバート／深津 篤	自動車販売・マネージャー 政治学、地理学の学位あり 現在経営学修士号取得中	33・男性・既婚	岡崎南
Michael Hamilton マイケル・ハミルトン／奥村英世	ビクターハーバー市勤務 英語教師として日本滞在経験	29・男性・独身	岡崎南
Peta Czech ベタ・クゼシュ／杉田雅樹	南オーストラリア州警察 年金課勤務日豪友好協会会員 娘2人	34・女性	岡崎南
Kymberly Rohrsheim キンバリー・ローシェイム・山本雅樹	旅行代理店勤務 RI交換留学生として日本滞在経験あり 娘1人	40・女性	岡崎南
Malcolm Lindquist マルコム・リンクエスト／神谷卓弐	チームリーダー バスト会長 アンリー高校校長代理	60・男性	岡崎南

2004～2005年度 国際ロータリー第2760地区

地区幹事
会計長
監事
副幹事
スタッフ
決 定

地区幹事

安藤 重良

1943年4月18日生

(株) 安藤七宝店 代表取締役社長



1973.7 名古屋RC入会
1986～1987 S A A
1988～1989 幹事
1991～1992 ユースサービス委員長
1992～1993 会員増強委員長
1993～1994 親睦活動委員長
1995～1996 社会奉仕委員長
1998～1999 ロータリー情報委員長
2000～2001 副会長、クラブ奉仕委員長

地区監事

加藤 千磨

1938年1月1日生

(株) 名古屋銀行 取締役頭取



1978.10 名古屋RC入会
1986～1987 プログラム委員長
1988～1989 職業奉仕委員長
1991～1992 副会長、
クラブ奉仕委員長
1994～1995 会員選考委員長
1997～1998 会計
2002～2003 会長
2003～2004 直前会長

地区副幹事

吉田 敬三

1951年1月11日生

(有) 亀末廣代表取締役社長



1984.7 名古屋RC入会
1994～1995 ソングリーダー
1995～1996 ソングリーダー
1996～1997 ソングリーダー
1997～1998 ソングリーダー
1999～2000 出席委員長
2002～2003 職業分類委員長

ガバナー
エレクト

大島 宏彦

1934年4月26日生

中日新聞社 取締役最高顧問



1985.11 名古屋RC入会
1990～1991 プログラム委員長
1993～1994 一般広報委員長
1999～2000 会長エレクト
2000～2001 会長
2001～2002 直前会長
2002～2003 ガバナーノミニー

地区会計長

近藤 久二

1934年3月6日生

信友(株) 代表取締役社長



1994.11 名古屋RC入会
2000～2001 米山奨学委員長
2001～2002 会計

地区副幹事

渡邊 文雄

1939年9月14日生

東和毛織(株) 代表取締役社長



1982.5 名古屋RC入会
1987～1988 S A A
1989～1990 会員増強委員長
1991～1992 幹事
1998～1999 職業奉仕委員長
1999～2000 職業分類委員長
2002～2003 会計
2003～2004 プレテン委員長

地区副幹事

島本 迪彦

1940年2月10日生

愛知(株) 代表取締役社長



1986.5 名古屋RC入会
1992～1993 S A A
1993～1994 出席委員長
1996～1997 幹事
1999～2000 会員増強委員長
2002～2003 プログラム委員長

地区副幹事

楠 吉邦

1951年6月23日生
(株)山城屋 取締役社長

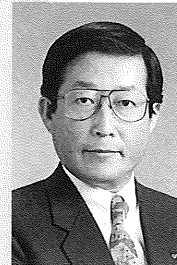


1990.2 名古屋RC入会
1996～1997 S A A
1997～1998 出席委員長
1999～2000 幹事
2002～2003 社会奉仕委員長

地区副幹事

吉江 源之

1947年7月18日生
(株)木曽路 代表取締役社長



1991.7 名古屋RC入会
1993～1994 親睦活動副委員長
1995～1996 プログラム副委員長
1998～1999 出席委員長
2000～2001 職業奉仕副委員長
2001～2002 親睦活動副委員長

地区副幹事

石田 喜樹

1949年6月10日生
石田国際特許事務所 所長



1990.2 名古屋RC入会
1996～1997 職業分類委員長
1998～1999 ニコボクサー
2002～2003 ロータリ財団委員長

地区副幹事

永岡 滋

1949年1月22日生
(株)北山 代表取締役



1999.7 名古屋RC入会
2001～2002 出席副委員長
2002～2003 社会奉仕副委員長
2003～2004 親睦活動副委員長

地区副幹事

杉浦 典男

1957年4月29日生
(株)中店八勝館 代表取締役



2000.3 名古屋RC入会
2002～2003 職業分類副委員長
2003～2004 ソングリーダー

地区
スタッフ

井元 明正

1949年5月12日生
井元産業(株) 代表取締役



1990.1 名古屋RC入会
1994～1995 プレテン副委員長
1996～1997 一般広報副委員長
1997～1998 職業奉仕副委員長
1999～2000 一般広報委員長
2000～2001 プログラム副委員長

地区
スタッフ

祖父江 重久

1951年9月2日生
糸重(株) 代表取締役社長



1984.2 名古屋RC入会
1991～1992 S A A
1992～1993 一般広報委員長
1995～1996 幹事
1997～1998 親睦活動委員長
2000～2001 ロータリー情報委員長
2002～2003 職業奉仕委員長

地区
スタッフ

平野 善得

1952年2月2日生
監査法人トーマツ名古屋事務所 代表社員 公認会計士



1999.11 名古屋RC入会
2002～2003 社会奉仕副委員長
2003～2004 社会奉仕副委員長

第2回地区諮問委員会

日時：2003年9月6日（土） A M11：00～

場所：名鉄グランドホテル 18F

■出席者

福田PDG、田中PDG、盛田PDG
加納PDG、神戸PGD、宮地PDF
石川PDF、松本PDF、内藤PDF
野村PDF、福田PDF、太田PDF
岡部PDF、豊島DG、大島DGE

■オブザーバー

伊藤直前地区幹事、加藤直前地区会計長
瀧地区幹事、安藤次期地区幹事、
長谷川地区副幹事、廣瀬地区スタッフ

-----次 第-----

●豊島ガバナー挨拶

●協議事項

- 1) 2002～2003年度 地区会計決算（案）承認の件
- 2) 2005～2006年度 国際ロータリー第2760地区ガバナーノミニー候補推薦の件
- 3) 2004～2005年度（大島年度）ガバナー補佐候補者推薦の件
- 4) 2003～2004年度 地区大会決議案採択の件
- 5) 2003～2004年度 ライラセミナーホストクラブ委嘱の件
- 6) その他 報告事項

文庫通信

193号



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして、1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧はもちろん、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介をいたします。

.....地区大会及びI.M.のシンポジウムから.....

- ◎「青少年問題について」
青木和雄他 2003 10p（D2590地区大会）
- ◎「新世代に引き継ぐ奉仕の理想」
もず昌平（コーディネーター） 2003 8p
（D2660地区大会）
- ◎「当地区による重要課題について」
岡本徳彌（コーディネーター） 2003 12p
（D2590地区大会）
- ◎「ロータリーの基本について」
佐藤 孜（コーディネーター） 2003 16p
（D2710IM）

- ◎「魅力あるロータリーを目指して」
香川 孝（コーディネーター） 2003 8p
（D2670地区大会）
- ◎「今、何故地域教育力なのか？」
柳父立一（コーディネーター） 2003 27p
（D2660IM）

【ロータリー文庫】

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館／午前10時～午後5時 休館／土・日・祝祭日

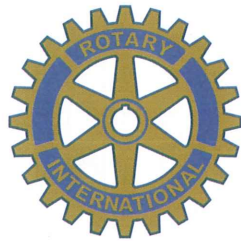
会員数 及び 出席報告 (平成15年9月分)

区分	クラブ名	会 員 数		入 会		退 会		例 会 数	9月 出席率	女 性
		2003年 7月1日	2003年 9月末日	9月	累計	9月	累計			
南 尾 張 分 区	半 田	68	69	0	2	0	1	4	100.00%	4
	常 滑	58	58	0	0	0	0	4	96.94%	0
	東 海	56	55	0	1	0	2	4	94.09%	2
	東 知 多	27	27	0	0	0	0	3	95.24%	0
	半 田 南	54	55	0	1	0	0	4	97.22%	1
	知 多	33	33	0	0	0	0	4	89.39%	0
	大 府	28	29	0	2	0	1	4	93.00%	0
	7RC	324	326	0	6	0	4		95.13%	7
西 尾 張 分 区	一 宮	80	81	0	2	1	1	4	99.37%	0
	津 島	78	78	0	1	1	1	4	98.04%	1
	尾 西	40	40	0	0	0	0	4	91.25%	0
	一 宮 北	61	62	0	1	0	0	4	94.77%	0
	稲 沢	61	61	0	0	0	0	4	94.20%	0
	あ ま	91	92	0	1	0	0	2	97.73%	0
	西春日井	38	37	0	0	0	1	4	96.06%	1
	尾張中央	48	49	1	1	0	0	4	95.63%	0
東 尾 張 分 区	一 宮 中央	61	61	0	0	0	0	4	95.77%	5
	9RC	558	561	1	6	2	3		95.87%	7
	瀬 戸	82	83	0	1	0	0	4	100.00%	4
	犬 山	87	89	0	3	1	1	4	99.70%	0
	江 南	64	65	0	1	0	0	4	88.84%	1
	小 牧	74	75	0	1	0	0	4	82.93%	2
	春 日 井	75	75	0	0	0	0	4	98.96%	4
	尾 張 旭	34	35	0	1	0	0	4	97.57%	0
西 名 古 屋 分 区	名古屋空港	52	52	0	0	0	0	4	100.00%	0
	瀬 戸 北	75	75	0	0	0	0	3	100.00%	3
	岩 倉	21	19	0	1	0	3	4	100.00%	0
	豊山-城北	33	31	0	0	0	2	4	99.38%	1
	愛知長久手	23	24	1	3	0	2	4	66.00%	1
	11RC	620	623	1	11	1	8		93.94%	16
	名 古 屋	195	199	4	6	1	2	4	94.82%	0
	名 古 屋 西	112	112	0	0	0	0	4	92.53%	0
西 名 古 屋 分 区	名 古 屋 南	114	118	0	5	0	1	4	95.31%	0
	名古屋みなと	89	91	1	2	0	0	4	98.86%	0
	名古屋東南	76	82	3	6	0	0	4	96.64%	6
	名 古 屋 中	139	141	0	2	0	0	3	98.80%	0
	名古屋瑞穂	76	77	0	2	1	1	4	97.05%	0
	名古屋大須	67	68	0	1	0	0	4	96.15%	1
	名 古 屋 栄	78	82	0	4	0	0	3	100.00%	0
	名古屋名南	82	84	1	2	0	0	4	99.01%	14
西 三 河 分 区	名古屋名駅	99	105	1	8	1	2	4	95.17%	2
	名古屋西南	52	55	1	3	0	0	4	97.15%	7
	12RC	1,179	1,214	11	41	3	6		96.79%	30
	名 古 屋 北	99	100	1	2	1	1	4	98.75%	0
	名 古 屋 東	85	92	1	7	0	0	3	95.00%	0
	名古屋守山	67	67	0	0	0	0	4	95.21%	5
	名古屋和合	95	106	3	12	0	1	4	96.05%	0
	名古屋名東	65	64	0	0	1	1	4	100.00%	5
東 三 河 分 区	名古屋名北	53	53	0	0	0	0	4	98.08%	8
	名古屋千種	68	67	0	0	1	1	4	97.09%	6
	名古屋昭和	65	66	0	1	0	0	4	100.00%	0
	名 古 屋 錦	36	37	0	1	0	0	4	97.92%	8
	名古屋東山	60	61	1	1	0	0	4	95.18%	1
	10RC	693	713	6	24	3	4		97.33%	33
	豊 橋	116	117	0	1	0	0	4	98.23%	4
	蒲 郡	67	67	0	0	0	0	4	96.36%	0
西 三 河 中 分 区	豊 橋 北	99	102	0	3	0	0	4	95.26%	2
	豊 川	69	69	0	0	0	0	4	98.21%	0
	田 原	60	60	0	0	0	0	4	95.50%	1
	豊 橋 南	65	65	0	1	1	1	4	98.08%	0
	新 城	62	62	0	0	0	0	4	89.75%	0
	渥 美	39	40	0	1	0	0	4	78.57%	0
	奥 三 河	29	27	0	0	2	2	4	91.70%	3
	豊川宝飯	53	55	0	2	0	0	4	95.00%	0
西 三 河 分 区	豊橋ゴールデン	71	71	0	0	0	0	4	91.92%	0
	田原パシフィック	71	71	0	0	0	0	4	94.71%	0
	豊 橋 東	48	48	0	0	0	0	4	100.00%	0
	13RC	849	854	0	8	3	3		95.58%	10
	岡 崎	103	104	1	1	0	0	4	99.18%	1
	豊 田	76	80	3	4	0	0	4	98.95%	0
	岡 崎 南	106	108	1	2	0	0	4	98.50%	3
	豊 田 西	101	104	0	3	0	0	4	99.47%	0
西 三 河 分 区	岡 崎 東	80	80	0	1	0	1	4	99.61%	1
	豊 田 東	80	82	0	2	0	0	4	97.79%	0
	岡崎城南	78	78	0	0	0	0	4	97.35%	0
	豊田三好	26	26	0	0	0	0	4	98.86%	3
	豊 田 中	52	52	0	0	0	0	4	99.00%	3
	9RC	702	714	5	13	0	1		98.75%	11
	刈 谷	82	90	1	10	1	2	4	100.00%	0
	安 城	69	70	0	2	1	1	4	85.45%	1
西 三 河 分 区	西 尾	77	75	1	1	1	3	4	96.15%	1
	碧 南	73	75	1	3	1	1	4	97.12%	0
	一 色	37	37	0	0	0	0	4	100.00%	0
	高 浜	43	44	0	1	0	0	4	100.00%	2
	知 立	63	62	0	0	0	1	4	99.52%	0
	西尾KIRARA	61	62	0	1	0	0	4	93.15%	0
	三河安城	47	49	0	3	1	1	4	90.00%	3
	9RC	552	564	3	21	5	9		95.71%	7

クラブ 平均

平均出席率 80 96.14

地区内クラブ数 80RC	2003年7月1日会員数	5,477名	増加会員数 (累計)	130名
	当月会員数	5,569名 (内女性121名)	減少会員数 (累計)	38名
	当月平均出席率	96.14%	差引純増会員数 (累計)	92名



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2760